

日本における令和3年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



アンコンシャス・バイアスって何だろう？

みなさんはアンコンシャス・バイアスという言葉を知ったことはありますか？これは育った環境や組織内で個人の心に染み付いた**無意識の偏見(価値観の偏り)**を指す言葉だそうです。

例えばこんな風に考えてしまうことは、アンコンシャス・バイアスとなります。

- ・女性はこまやかなところづかいができるものである。
- ・血液型がA型の人は几帳面。
- ・男性の方がリーダー向き。
- ・女性は管理職に向いていない。
- ・雑用は新入部員の役目。
- ・シニアはパソコンが苦手。
- ・女性の方が優しく、人をケアするのが得意。
- ・家庭においては、料理するのは女性の役目。
- など

学校生活で同じように考えてみると、、、

- ・男の子は『君』、女の子は『さん』で呼ぶ。
- ・男子は字がうまくない。
- ・赤いランドセルは女の子用、黒いランドセルは男の子用
- ・代表は男子が務めるべきである。
- ・男子のものはブルー系、女子は赤系がよい。
- ・並ぶ順番、名簿の順番は、男子が先で女子が後。
- ほかにもないでしょうか？

自分の学校生活で、このようにきめつけて考え、行動してしまっていることはないでしょうか？

毎年3月8日は、1975年に国連が『国際女性デー』と定めた日です。内容は、女性の平等な社会参加の環境を整備するように呼びかけるものとなっています。もともとの起こりは、1904年に、アメリカで女性労働者たちが、婦人参政権を求めてデモを起こした日が3月8日だったことだそうです。

今では当たり前になっている女性参政権（政治に参加する権利、選挙権など）、日本でも男性には1890年に与えられていた参政権が女性に与えられたのは、日本がアメリカに太平洋戦争で負けた後の1945年と、男性にくらべて55年も遅れたものでありました。それ以降、女性の立場は次第に向上してきました。1989年には、男女雇用機会均等法が施行され、男だけ募集などということも出来なくなっていくたのです。

まだまだ残る性別による差別、様々な人々への差別。それは、常日頃の生活の中から、いつの間にか自分の心の中に出来上がってってしまうアンコンシャス・バイアスが大きく影響しているのではないのでしょうか。

第四中では、先生が生徒のことを『さん』付けで呼ぶようにしています。それは、かつての学校は『君は男の子の呼び名、さんは女の子の呼び名』『男の子は青、女の子は赤』などのように決めて日常生活をさせてきました。そのようなことによって君たちの心の中に知らず知らずのうちにできでしまっているアンコンシャスバイアスを、少しでも無くしていこうという取り組みでもあるのです。